



令和7年度 第2回さつき学級



「うそ電話詐欺被害防止について」

7月11日(金)弥富交流促進センターで、第2回目のさつき学級を開催し、29名の参加がありました。今回は、講師に萩警察署 弥富駐在所 所長 袈裟丸 篤史様をお招きして、「うそ電話詐欺被害防止について」のお話を聞きました。

はじめに、簡単に自己紹介をされた後、早速「うそ電話詐欺の手口」と被害防止のポイントについて、詳しく教えていただきました。

☆**預貯金詐欺**(キャッシュカードの交換をすすめ、暗証番号を聞き出し、電話中に家に受け取りに来る)…相手が本物か確認する、家族・警察へ相談するなど。☆**還付金詐欺**(市役所職員等をかたる者から電話があり、ATMから犯人の口座へ振込手続きをさせるもの)…ATMで還付金の手続きを行うことは絶対ない。携帯電話で通話をしながらATMを操作している人を見かけたら、詐欺被害を疑う。☆**架空請求詐欺**(パソコンのウイルス除去・修復名目・有料サイト未納料金名目等、県内のうそ電話詐欺被害で一番多い手口！不審電話も多数認知！)…指示に従わず、連絡先に電話をかけない。身に覚えのないメールを開封しない。電子マネーの番号を聞き出すのは詐欺犯人。電子マネーの番号を伝えない、入力しない、写真をおくらない！など、それぞれの手口と被害防止ポイントを分かりやすく、丁寧に説明をしていただきました。皆さんも「うんうん」とうなずかれながら、熱心に聞かれていました。

その他にも、国際電話を利用したうそ電話詐欺が急増しているそうで、「固定電話、ひかり電話は、国際電話利用契約を休止することができるので、被害防止のため、手続きを希望される方は、警察署でも申し込み用紙を用意しております！」とお話をされました。

次に、「預貯金詐欺」「キャッシュカード詐欺」「架空請求詐欺」についてのDVD鑑賞を行い時間いっぱい「うそ電話詐欺」について勉強をしました。

最後の質問コーナーでは、「消防署から電話があったが、ようわからんから切った。」と相談された方がおられ、「切った後も、電気保安協会や国税局からも電話がかかってきたが本物かどうかわからんから不安だ。」とお話をされました。袈裟丸さんも初めて聞く事案だということで、「不安に思われたら、直ぐに親しい方に相談するか、警察へ連絡してください。」と締めくくられました。皆さんも、興味深い話を聞くことができ、今まで以上に気を付けられることと思います。

ご参加いただいた皆さん、ありがとうございました。

